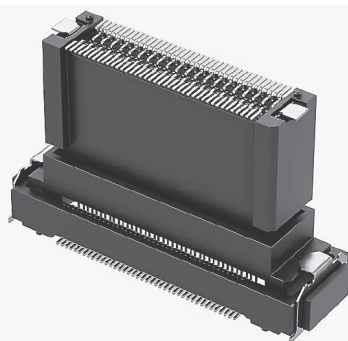




出展紹介 ケル

ケルは、自動車の技術進化に向けて「高速通信・高耐熱・耐振動」をテーマとした製品開発を強化している。同社は「人とくるまのテクノロジー展 2025 NAGOYA」に出展し、自動車の駆動系および制御系の各種アプリケーションに向けた製品提案を行う。

2025 NAGOYA 駆動系の新規コンセンサスに出品する。最大80通信・高耐熱・耐振動の電源を供給できる。フロートティング量品開発を強化している。AX240極。125度の耐熱。



制御系の新規コンセンサスでは、開発中の「PCIe5.0相当高速通信対応基板対基板コネクタ」を紹介する。統合ECUやHPC向けに開発を進めている製品で、PCフロートティングコネクタ

けに開発中の「耐振動140度耐熱タイプフロートティングコネク

「高速通信・高耐熱・耐振動」テーマに 駆動系、制御系^{など}製品提案

シリーズ」「DTシリーズ」「電源端子付き「DTEシリーズ」、シェル付きタイプ「DTSシリーズ」、高さ30mmMAXの「DTFSシリーズ」、125度耐熱タイプ「DT12/13シリーズ」などの豊富なラインアップを紹介する。

細線同軸ケーブル用コネクタ「ASLSシリーズ」は業界最小クラスの基板占有面積で基板の省スペース化を実現し、フリップダウンモニターでの使用が可能。1.5mmピッチ圧着ケーブル用コネクタ「FASシリーズ」も紹介する。

ブース内では、50%のモニターを2台設置し、展示製品の画像紹介(DT、JG、JF、ASLS、FASシリーズ)も行う。

「タ」を紹介する。

既存のフロートティングコネクタは「DY